

スクリーンの追加・変更等の編集時、「デバイスの使用状況がわからない」、「このスクリーンはどうやって呼び出しているか」等、作りがわからず困ったことはありませんか？  
検索機能を使用すれば解決できます。本号では各種項目の検索について紹介します。

- ・ デバイスの使用箇所/使用状況の検索
- ・ クロスリファレンス
- ・ 文字列の検索と置換

## デバイスの使用箇所/使用状況の検索

ファイル全体での**デバイス**の使用箇所、および**使用状況**が簡単に確認できます。

例：D100～129（30ワード）を検索

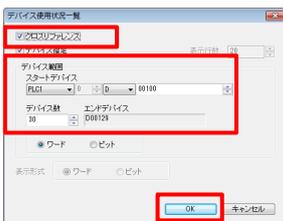
デバイスの“**使用箇所**”を確認するには・・・

デバイスの“**使用状況**”を確認するには・・・

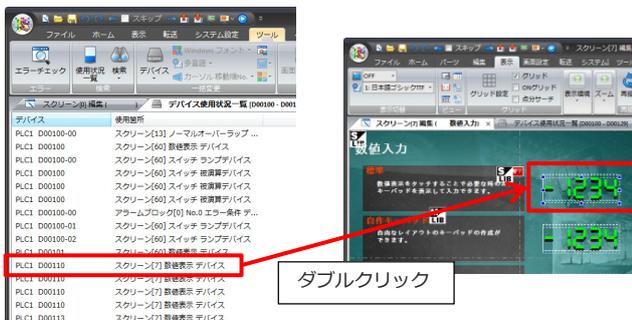
① [ツール] → [検索] → [デバイス] をクリックし、「デバイス使用状況一覧」ダイアログを表示します。



② 以下のように設定し、[OK] をクリックします。  
 ・クロスリファレンス：チェックあり  
 ・スタートデバイス：D100 デバイス数：30



③ 検索結果として、使用デバイスと使用箇所が表示されます。  
 任意のデバイスをダブルクリックすると、  
 使用箇所にジャンプします。



② 以下のように設定し、[OK] をクリックします。  
 ・クロスリファレンス：チェックなし  
 ・スタートデバイス：D100 デバイス数：30



③ 検索結果が表示されます。



\*あり：使用中  
 \*なし：未使用



一覧表示の“\*”箇所を右クリックし、「VIEW」を選択すると、使用箇所も確認できます。



様々な方法で使用状況が確認できるので便利！！  
 確認作業の時間短縮につながる！！

## 文字列の検索と置換

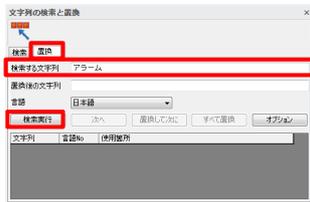
文字列の“検索”、および“置換”が行えます。  
登録箇所がすばやく確認でき、さらに文字列も一括で変更できます。

例：全ての「アラーム」→「異常」に変更

- ① [ツール] → [検索] → [文字列] をクリックし、「文字列の検索と置換」ダイアログを表示します。



- ② [置換] タブをクリックし、“検索する文字列：アラーム”と設定し、[検索実行] をクリックします。



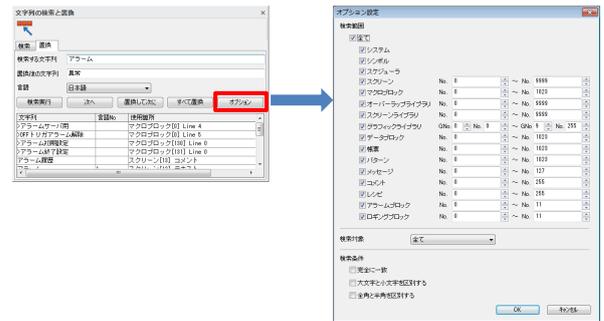
- ③ 検索結果が一覧で表示されます。“置換後の文字列：異常”と設定し、[すべて置換] をクリックします。



- ④ 置換が完了すると、以下のダイアログが表示されるので、[OK] をクリックします。置換が行われた箇所は水色で表示されます。



[オプション] をクリックして、「オプション設定」ダイアログで検索範囲、条件を追加できます。



## クロスリファレンス

スクリーン切替スイッチやマクロブロックなどが設定されている場所を検索できるので、呼出元の確認が容易に行えます。

【対象】スクリーン、オーバーラップライブラリ、スクリーンライブラリ、マクロブロック

例：スクリーンNo. 1の呼出元を確認するには・・・

- ① [ツール] → [検索] → [クロスリファレンス] をクリックし、「クロスリファレンス」ダイアログで“対象：スクリーン”、“No：1～1”と設定し、[検索実行] をクリックします。



- ② 検索結果が表示されます。任意の項目をダブルクリックすると、設定箇所にジャンプします。



※その他の検索項目、詳細については『V9オペレーションマニュアル』をご覧ください。

【連絡先】

**発紘電機株式会社**  
モニタタッチコールセンター

TEL : 0120-929-299  
※ 携帯電話からは076-274-5130  
FAX : 076-274-5208  
URL : <http://www.hakko-elec.co.jp>